



新給食センター建設予定地

総務文教委員会

市の総合企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に属する事項等に対応する委員会です。

◎野村昌平 ○田口慎一郎
安東伸昭、小椋 多、河本英敏
西野修平、原 行則

(◎委員長 ○副委員長 以下同様)

総務文教委員会に付託された議案9件、報告1件、継続中の請願2件を審査した。

議案及び報告の審査結果として、議案第1号を賛成多数で、残る議案8件を全員一致で原案のとおり可決し、報告1件を全員一致で原案のとおり承認した。

審査の過程で特に議論された点として、議案第1号「平成24年度津山市一般会計補正予算（第1次）」では、地域振興関係費委託料のうち、地域資源調査事業の内容について質問があり、県の震災等緊急雇用対応事業補助金を受け、過疎高齢化が進む地域を中心に生活機能維持調査や空き家調査等を行い、地域支援の仕組みづくりの基礎資料とする。事業を委託して調査員1名を雇用し、住民自治協議会や町内会と協力しながら調査を進めていくとの答弁があった。

新給食センター等への施設整備費にかかわる質問では、新給食セ

ンター建設候補地の選定について質問があり、選定に至る経過と用地の決定理由について答弁があった。

戸島学校食育センター内の調理作業ラインを2つにする施設改修についての質問では、施設設計業者や栄養職員と協議を行い、より良い施設改修を目指したいとの答弁があった。

食材の地産地消についての質問では、全庁的な体制を整備し、必要な食材の搬入時期や量などを明確にし、JAや農家の方の意見も伺いながら、調整を図りたいとの答弁があった。

給食残渣の処理についての質問では、食育の観点等から処理方法を検討したいとの答弁があった。

その他、戸島学校食育センターについて、施設改修に及んだ事業方針の変更点や施設運営上の課題等を総括し、文書としてまとめるよう要望があった。

議案第13号から議案第16号の

「工事請負契約については、すべて学校施設の耐震改修工事に伴う契約議案であり、工事に際しての注意点について質問があり、同時期に多数の学校施設工事を行うため、公平性を重視した工事内容とするように心掛けていくとの答弁があった。

請願の審査では、継続中の平成23年度請願第15号「人権侵害救済法案に反対する意見書提出についての請願」については、請願趣旨に賛成し、採択を求める意見と、調査研究が必要として継続審査を求める意見とに分かれ、継続審査を諮ったところ、可否同数となり、委員長裁決により、継続審査とした。

請願第17号「衆議院の比例定数80削減に反対し、選挙制度の抜本改革の意見書提出を求める請願書」については、国等の動向を注視して研究すべきとして継続審査を求める意見と、請願趣旨に賛成し採択を求める意見があり、採決の結果、継続審査とした。

◎ 有権者が威迫してあるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。